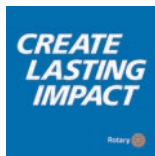




第1313号
No.9
2026年9月8日



2026-27年度 国際ロータリーのテーマ
CREATE LASTING IMPACT
「持続可能なインパクトを生み出そう」
RI会長 オラインカ・ハキーム・ノシバロラ

2026-27年度 東京恵比寿ロータリークラブのテーマ
「やってみよう、ちょっと違う。ちょっと面白い。」
A Little Different. A Little More Fun. A Lot More Impact.
会長 大野 宏樹

9.8 本日のプログラム

卓 話
「価格や量とは別次元で未来を創る」

岩泉ホールディングス株式会社 代表取締役

やました きんや
山下 欽也さん

今後のプログラム

- 9月 15日 ガバナー補佐訪問 卓話「ロータリーを知ろう!」
国際ロータリー第2750地区 山の手東グループ
東京恵比寿RC 小幡 敏之 ガバナー補佐
@ ウェスティンホテル 楓
- 9月 28日 合同例会(渋谷RC) ガバナー公式訪問
卓話「2026-27年度RI強調事項及び地区運営方針」
国際ロータリー第2750地区 2026-27ガバナー
東京クロスシティRC 武藤 英正 ガバナー
@ セルリアンタワー東急ホテル B2F「昴」
- 10月 6日 卓話「米山梅吉物語」
ベンチャー落語家 豆生田 信一(参遊亭 遊助)さん
@ ウェスティンホテル 桜
- 10月13日 卓話 白井 一幸さん
@ ザ・テンドーハウス 2F インディゴリオス

Profile

やました きんや
山下 欽也さん

- 1956年 岩手県岩泉町下有芸に3人兄弟の長男として生まれる。
- 1978年 岩泉高等学校卒業後、
岩手県立六原農場を経てJA岩泉町に入組。
- 2005年 26年間勤務したJAを早期退職し、
岩泉乳業株式会社に入社。
- 2009年 執行役員工場長を経て、代表取締役に就任。
「岩泉ヨーグルト」のブランド化により六次産業化に成功。
全国に岩泉ヨーグルトファンを拡大。
- 2015年 売上高を5倍に伸ばすなど、長年の累積赤字を解消する。
「龍泉洞の化粧水」を開発するなど新たな分野に挑戦。
- 2019年 代表取締役を兼任していた岩泉乳業、
岩泉産業開発、岩泉HDを合併し、
新生「岩泉ホールディングス」の代表取締役に就く。
- 2020年 ViTOJAPANと提携し、
新ブランド「ViTO × IWAIZUMI」オープン。
- 2023年 テレビ東京「カンブリア宮殿」に出演。
- 2024年 畑わさペーゼが第20回日本農業新聞一村逸品大賞にて
大賞を獲得。
第139回 2024年新春全国経営者大会(帝国ホテル)にて
講師を務める。
「ViTO × IWAIZUMI 盛岡店(2号店)」オープン。
- 2025年 初のフランチャイズ店舗となる、
「ViTO × IWAIZUMI 宮古島店」オープン。
FC店2号店目となる、
「ViTO × IWAIZUMI 旭川店」オープン。
- 2026年 FC店3号店目となる、
「ViTO × IWAIZUMI 高知店」オープン。

例会出席者数

9月1日 第1355回例会

ゲスト Guest	鍬川 将太郎さん(青少年派遣生(ROTEX))	
	米田 尚輝さん(尾形会員ご紹介)	
	片田江 舞子さん(花房会員ご紹介)	
出席報告	ゲスト・招待	3名
	出席者数	53名

Happy Birthday

9月生まれの皆さんお誕生日おめでとうございます。



青少年派遣帰国報告

9.1.tue

アメリカ留学を通して学んだこと

青少年派遣生(ROTEX)
てつかわ しょうたろう
鏡川 将太郎 さん



皆様、こんにちは。本日はイニシエーションスピーチの機会をいただき、ありがとうございます。私は今回、アメリカへの留学を通して経験したこと、そしてその中で学んだことについてお話しさせていただきます。

留学前は、英語だけで生活できるのか、現地で友達を作ることができるのかという不安がありました。特に、英語を間違えることへの恐怖があり、言いたいことがあっても、頭の中で完璧な文章を考えているうちに、結局何も話せないということがありました。

しかし、実際に生活してみて感じたのは、完璧な英語を話すことよりも、まず自分から話しかけることが大切だということです。短い言葉でも、自分から声をかけることで会話が始まり、そこから少しずつ関係ができていきました。一緒に写真を撮ったり、冗談を言ったり、同じ時間を過ごしたりする中で、徐々に友達も増えていきました。

分からないことがあった時も、以前なら恥ずかしくてそのままにしていたと思いますが、留学中は「分からないなら聞く」「伝わらなければ別の言葉で説明する」ということを意識しました。自分の気持ちを伝えようとする姿勢こそが、人との関係を築く上で大切なのだと実感しました。

また、ホストファミリーは私を単なる留学生としてではなく、家族の一員として接してくれました。安心して新しい環境に挑戦できたのは、帰る場所があったからだと思います。アメリカで生活する中では、日本とは異なる生活習慣や考え方にも多く触れました。例えば、ホストファミリーとの生活を通して、睡眠をしっかり取ることの大切さなど、日常生活の中にも多くの違いがあることを知りました。

学校生活では、周囲の人がさまざまな活動に積極的に参加していることも印象に残りました。最初は周りの様子を見てから行動することが多かったのですが、自分から参加してみることで新しい人と出会い、経験の幅を広げることができました。学校は勉強をする場所であるだけでなく、人とのつながりをつくる場所でもあるのだと感じました。

留学先はアメリカの中西部に位置し、主にトウモロコシなどの農業が盛んな地域でした。日本とは全く異なる環境の中で生活できたことも、とても貴重な経験でした。

そして、私にとって大きな挑戦の一つだったのがレスリングです。日本にいた頃は、ほとんど運動をしていなかったため、練習も試合も決して簡単なものではありませんでした。思うように体が動かず、苦しいこともありました。それでも、仲間と一緒に厳しい練習を乗り越え、試合で応援してもらったり、勝った瞬間の喜びを共有したりする中で、スポーツを通じて人とつながる楽しさを知りました。

この経験を通して、私は三つのことを学びました。

一つ目は、まず自分から動いて、話しかけることです。間違いを恐れて何もしないよりも、失敗しても挑戦することの方が大切だと学びました。

二つ目は、積極的に行動することです。最初から自信がなくても、まず参加してみることで、新しい経験や出会いにつながりました。

三つ目は、文化や価値観の違いを受け入れることです。自分の「当たり前」を基準にするのではなく、「なぜ相手はそう考えるのだろう」と考えることで、相手を理解しようとする姿勢が大切だと気がきました。

留学生活では、楽しいことだけではなく、言葉が通じず苦労したり、思うようにいかなかったりすることもありました。しかし、その一つ一つの経験が、自分自身を成長させてくれたと思います。

この半年間で得た経験は、これからも自分の中に残り続けると思います。留学を単なる楽しかった思い出で終わらせるのではなく、これからも自分から行動し、違いを受け入れ、人とのつながりを大切にしていきたいと思っています。

最後になりますが、今回の留学を支えてくださったスポンサーの皆様、関係者の皆様、そして私を温かく送り出してくださった皆様に、心より感謝申し上げます。皆様のご支援があったからこそ、私はアメリカで多くの人と出会い、レスリングをはじめとする新しいことに挑戦することができました。

今回の経験をこれからの自分の人生に生かし、少しずつでも成長していけるよう努力していきたいと思っています。

本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。



イニシエーションスピーチ

9.1.tue

皆さまこんにちは、柴山義寛と申します。本日はよろしくお願いいたします。生前父がこの東京恵比寿ロータリークラブにお世話になっており、2022年12月に亡くなった後、赤塚聖子さんを通して多くの方々からお声がけ頂き、昨年10月に入会させていただきました。また、父の葬儀の際には多くの方々にご参列いただきまして、改めて御礼申し上げます。本日は、私自身の事と私が住職をしております「天現寺」の事を少しご紹介させていただきます。

自己紹介

名 前：柴山 義寛

生年月日：1975年9月18日

職 業：僧侶(天現寺住職)

兄弟は4人兄弟で、子供の頃は祖父母も健在でしたので、8人家族という賑やかな家庭で過ごしました。学校は、私がお寺の長男と言うことで、皆さまは仏教系の学校に進んだのだろうか?と思う方が多いのですが、大学は理系の学校に進学しました。中学高校までは公立の学校でしたが、国語や社会が苦手というのが大きな理由でしたが、当時はゲームが好きだったこともありゲーム開発等に興味を持ち、東海大学の工学部という理系の学部に進み、ソフトウェアの開発を学んでいました。卒業後は縁があって文化女子大学(現在は文化学園)で技術系の職員として働き、コンピュータの管理や、操作の苦手な学生や先生の授業の手伝いをしていました。2年ほど働いた後、寺の後を継ぐべく京都にある大徳寺の僧堂(修行の専門道場)に掛塔(入門)し、3年間の修行を積んで参りました。その後は、天現寺に戻り副住職として、先住一義光和尚のサポートをしていました。2022年に父 義光和尚が亡くなった後、その遺志を継ぎ、現在は天現寺十三世住職として、お寺を守っております。

天現寺について

名前：多聞山 天現寺

創建：享保四年(1719年)

本尊：毘沙門天(伝 聖徳太子 御作)

[仏像鑑定 ⇒ 平安末期と推定されている]

開山：良堂宗温

天現寺は享保四年(1719年)に建てられた約300年の歴史があります。300年と言うと古いお寺と思われそうですが、お寺の中では比較的新しいお寺になります。天現寺のご本尊様の毘沙門天は、徳川家康公の陣中守り本尊として祀られ、数多の戦に勝利したと伝えられています。そして、徳川幕府が開府し太平の世に移った後、この毘沙門天は徳川家の重臣である安倍家へ引き継がれ大阪城内にお祀りされ

しばやま
よしひろ
柴山
義寛
さん



ました。さらに姻戚関係にある仙石家へと引き継がれ品川のお堂に安置されました。時が流れて、この像は、武家の中で秘蔵しているだけではもったいない、大変ご利益の高い仏様であるから広く人々に功德を広めようということで、親交があった広尾にある祥雲寺の住職であった怡谿(いはい)和尚に相談して、毘沙門天を祥雲寺に遷しました。そして怡谿和尚は、弟子であり後の天現寺の開山である良堂和尚に託しました。良堂和尚は、大変ご利益の高い仏様であることから祥雲寺の中の“一仏様”では無く、新たに寺を建立しそこに毘沙門天を安置することを幕府に願ひ出ました。当時(享保の初め頃)は、八代将軍吉宗公の治政で、倭約令が出されており、新たな寺院の建立は特別な理由のない限り許されませんでした。そこで、小日向御筆笥町(現在の文京区)にあった大徳寺末寺の普明寺を引継ぐ事とし、享保四年に現在の地、南麻布に移築し、多聞山天現寺と改めて創建され、今日に至っています。

毘沙門天の3つのご利益

○金運・財運招福

インドの神「クベーラ」に由来する富と財宝の守護神としての力。

○勝負事・武運長久・開運勝利

武将・徳川家康公を支え続けた勝負運。

○厄除け・災難除け

特に、天現寺の毘沙門天は、江戸の大火や関東大震災、そして世界大戦における東京大空襲と度重なる大災害・戦乱に対しこれらをすべて乗り越えてきた、非常に強い厄除けの力があると思われます。このように三つの大きなご利益が有りますので、近くに來られる機会がありましたら、お参りいただけたらと思います。

最後に

さて、私が天現寺を守っていこうと思ったのは、父や祖父が培ってきた天現寺の在り方が大事だと思ったからです。父は次男で元々後継者では無く会社勤めをしていましたが、長男である叔父が後を継がないことになったため、急遽会社を辞めて天現寺の後を継ぎました。そのこともあってか、私自身に対しても強制せず、好きなことをさせてくれたのです。その中で、子供ながらに父の天現寺での和尚としての檀家さんとの接し方や私達子供達への向き合い方を見て、これからの天現寺の在り方を守っていきたいと思い、父の後を継いでいこうと考えました。父が倒れて急な形で住職となったため、私自身、まだまだ足りない部分が多いですが、なるべく父の考え方を見習いながら、天現寺の住職として精進していきたいと思います。東京恵比寿ロータリークラブに入会してから、なかなか活動に参加できる回数が少なく失礼しております。少しでもお手伝いできるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

委員会 就任挨拶

職業奉仕委員会

委員長 谷本 篤洋さん

本年度の職業奉仕委員会では、「それぞれの職業を通じて社会に奉仕する」というロータリーの職業奉仕の理念を大切にしながら、会員の皆さまが培ってこられた職業経験や専門性を、次の世代に伝えていく活動に力を入れてまいります。

東京女学館「15歳のハローワーク」の活動に加え、広尾中学校「シブヤ未来科・探究授業」において、中学生の「マイプロジェクト」の発表に対し、社会人メンターとしてコメントやアドバイスをを行います。

会員の皆さまにも、ぜひ積極的にご参加いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



メンバー 委員長／谷本篤洋 副委員長／安藤博章
委員／青木加津美、稲生有伎子、内野榮子、岡村育代、堀井良造、
南谷えり子、湯野川恵美

幹事報告

幹事 赤塚 聖子さん

・納涼会の収支報告

親睦活動委員長より予算の範囲内で実施できたとの報告がありました。

・RYLA受講者の受け入れ

青少年佐竹委員長により、RYLA受講者2名の受け入れが承認されました。

東京恵比寿ローターアクトクラブ 四ツ家裕太郎さん
株式会社エル・アミティエ社員 山本悠生さん

・2028年決議審議会決議案について

今年度は、3年に一度開催される規定審議会と、毎年開催される決議審議会の提出年にあたります。

RIの規定等について意見がある方は、ホワイトボードに掲示している内容を確認のうえ、意見ををお願いします。

・対外奉仕寄付金について

菩提樹学園への寄付について、国際奉仕の修正予算10万円が承認されました。

・2027-28年度 地区出向者について

地区指名委員会の委員長として、伊藤千恵さんが出向することが承認されました。

・クラブ協議会について

11月24日にクラブ協議会を開催予定です。
会員の皆様に出席をお願いします。

米山記念奨学委員会

委員長 小山田 薫さん

米山カウンセラー 谷本 篤洋さん

当クラブがお世話しております米山奨学生グエン・ヴ・ハ・アインさんにつきまして、「2026年10月採用クラブ支援奨学金(延長制度)」の選考結果が合格内定となりました。皆さまのこれまでのご支援に、心より感謝申し上げます。

クラブ支援による奨学期間の延長にあたっては、9月中にクラブ負担分として30万円の特別寄付を米山記念奨学会へ送金する必要があるため、10月の米山月間に先立ち、会員の皆さまに米山記念奨学事業への一層のご理解と、特別寄付の前倒しへのご協力をお願い申し上げます。

ネパール洪水被災者への支援について

会長 大野 宏樹さん

ネパールの垣見さんからの連絡です。

垣見さん、恵比寿村、共にエリアが離れているので無事です。

「8月26日 ネパールと中国の国境近くで大洪水が発生し現在までに死者 633人、行方不明者 3000人という大災害になってしまいました。今ネパール政府は国民に呼びかけ被災者に対する支援金を募っています。私が回っている村村でも

村人たちが協力をネットを通して行っています。ご支援者の皆様から被災者に対するご協力をいただければ本当に嬉しく思います。私が責任を持って被災者に届けさせていただきます。」

垣 見

恵比寿RC有志で支援金を送りたいと思いますのでご協力いただける方は大野までご連絡ください。



柴山 義寛さん

本日イニシエーションスピーチさせていただきます。よろしくお願いします。

本地 晶子さん

鍔川さんの帰国報告と柴山さんのイニシエーションスピーチを楽しみにしています。

三並 新悟さん

先週末の3日間、私が代表を務めております、相続事業承継コンサルティング協会が後援する資産運用EXPO関西に出展しました。来場者1万人、私共のセミナー参加者も800名を越え、相談ブースも常に満席!まさに大相続時代の到来を肌で感じて参りました。

小山田 薫さん

支援しています女子プロゴルフの佐久間朱莉プロがニトリレディースで優勝いたしました。6度目の優勝で2年連続女王を目指します。

鍔川 陽介さん

本日は将太郎の卓話、よろしくお願いします。成長した姿をご覧ください。

黄 舜範さん

本日は青少年派遣生、鍔川将太郎さんの報告と柴山義寛会員のイニシエーションスピーチを大変楽しみにしています。

花房 幸範さん

片田江様、本日は東京恵比寿ロータリークラブへようこそいらしゃいました。是非、楽しんで頂ければと思います。

神山 欣也さん

先週、ANJ新経営者クラブという経済団体の会で、ノルウェーに視察旅行に行ってきました。自然の景色、特にフィヨルドには感激致しました。

		前回まで	481,000円
9月1日	8名	合 計	46,000円
		年度合計	527,000円

本日もご協力いただきありがとうございました。

事務局より連絡

事務局メールアドレス

代表 office@ebisurc.org

飯澤 (月～金 10:00-17:00) office3@ebisurc.org

松川 (月・火・金 13:00-16:00) office2@ebisurc.org



9月のRIレート 1ドル 160円

Rotary
東京恵比寿ロータリークラブ



事務局 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-20-2-912

TEL 03-5420-6801 FAX 03-5420-6802 URL <http://ebisurc.org>

会長/大野 宏樹 幹事/赤塚 聖子 週報委員長/花房 幸範 副委員長/奥田 隆章 委員/磯部 雅代
西尾 江平 野々宮 憲彦 平山 佐知子 宮本 英義 吉川 一彰

例会日:毎週火曜日 12:30～13:30 例会場:ウェスティンホテル東京